



おおみそかにどうして年越しそばを食べるの

金銀のこなを集める、えんぎのいいもの

むかし、金や銀で細工をする職人さんたちが、年末になって仕事おさめをするとき、ゆかなどにちった、たいへんねうちがある金や銀のこなを集めようとしても、なかなかうまくいきませんでした。

そこで、職人さんはそばこをねって、ゆかをたたきますと、こながそばこにくっつき、きれいにとることができました。そのそばこを焼いてみると、金や銀だけが残りました。そこで、そばはとてもえんぎがいいということになり、職人さんの家庭以外の人も、年末にはそばを食べるようになったのです。

ながいから命も長くなる

そばがえんぎがいい、といわれている、もう一つの理由があります。300年ほど前から、そばはながいので、それを食べると、命も長くのびると考えられるようになり、年越しそばを食べることが、日本人の習慣になったようです。（監修・保岡 孝之）

